

センバツ出場の 光星に寄付金

八戸市職員ら

八戸市は3日、第88回選抜高校野球大会に出場する八学光星を支援しようと、職員有志から集まった寄付金を送った。市や八戸地域広域市町村圏事務組合、八戸圏域水道企業団の職員から、計約85万6千円が寄せられた。



安井基悦会長(右)に寄付金の目録を手渡す小林眞市長(左)。中央は橋場保人校長＝3日、八戸市庁

同日、市庁で贈呈式が行われ、同校甲子園出場協賛会の安井基悦会長と橋場保人校長が出席。小林眞市長から目録を受けた安井会長は「皆さまの善意に感謝します」とお礼を述べ、小林

市長は「総合力は出場校中、かなり上位だと思う」と期待を寄せた。大会は20日、甲子園で開幕。青森県勢は同校と青森山田の2校が出場する。(二戸康成)